

[anbai_19]

活動タイトル	「第 31 回えべつ環境広場 2021」の開催
実施日	2021 年 11 月 7 日
場所	江別市野幌公民館の会場とオンラインのハイブリッド開催
対象数	245 人（会場 107 人+オンライン 138 人）
<p>「えべつ環境広場」は、江別市と市内の環境活動団体等が連携し、環境に関する情報提供や、市民と一緒に環境について考える場として、平成 3 年から開催しているイベントで、今回で 31 回目です。</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、去年はオンラインのみで開催しましたが、今年は感染拡大防止対策を徹底し、会場開催とオンライン開催を組み合わせ、次の 3 部構成で実施しました。</p> <p>第 1 部 エコカー展示とミニ試乗会 第 2 部 e トーク「湿地から考える持続可能な江別」 第 3 部 環境屋台村</p> <p>第 1 部は、北国ならではの工夫をこらした一人乗りの小型電気自動車「NEICLE（ネイクル）」と、燃料電池車「MIRAI（ミライ）」の展示と試乗です。</p> <p>会場のみで開催ですが、それぞれのエコカーの説明や試乗の様子を、当日撮影・編集して、第 2 部の冒頭で紹介することで、オンライン参加者にもその雰囲気や内容をお伝えしました。</p> <p>第 2 部は、石狩川流域湿地・水辺・海岸ネットワーク（通称：しめっちネット）代表の鈴木玲（すずき・あきら）氏の講演「湿地から考える持続可能な江別」を、会場とオンラインの両方で開催しました。</p> <p>江別の自然や、イシカリ大湿原と江別に残る湿地、湿地の保全活動についての話題をテーマに、「持続可能な江別」を考えました。また、わかりにくく関心の低い社会課題を伝えるいろいろな工夫についても、話していただきました。</p> <p>第 3 部は、「環境屋台村」として、毎年えべつ環境広場と一緒に作ってくれている出展団体が、それぞれの活動を動画にまとめて、それらをオンラインと会場で紹介しました。</p> <p>去年も、各団体が紹介動画を作成しましたが、今年はさらにレベルアップしています。単なる団体紹介にとどまらず、マイバックや蜜蝋ラップの作り方の解説や、オンライン自然観察会の紹介、石けん利用や保温調理の方法について分かり易い解説が加わったりと、見ごたえある動画となっています。</p> <p>また、この秋に「えべつ環境広場」の関連イベントとして開催していた「食品ロス削減アイデア募集」(https://elife.ebetsu-earth.net/losszero)の結果を併せて紹介しました。</p> <p>基本的にはオンラインでの視聴がメインとなりましたが、会場内に団体の展示を行い、会場に来てくださった方には直接見ていただくようにしました。</p>	

第1部、第2部、第3部とも、写真付きの詳しい報告や全ての動画を、次のサイトにアーカイブとして公開していますので、ぜひご覧ください。

▼えべつ環境広場 2021

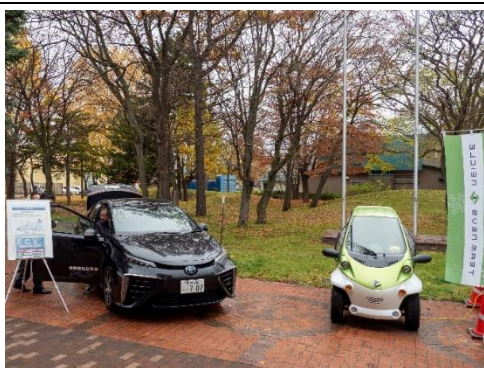
(URL) <https://elife.ebetsu-earth.net/hiroba>

なお、えべつ環境広場の主催は「えべつ地球温暖化対策地域協議会」で、私が会長として、同じく北海道地球温暖化防止活動推進員の岡崎朱実さんが副会長兼事務局長として関わっています。

(地球温暖化対策地域協議会は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」で、地球温暖化防止活動推進員が、地方公共団体や、事業者、住民等と連携して、日常生活における温室効果ガスの削減を図るものと位置づけられており、推進員の重要な活動の一つです。)

▼えべつ地球温暖化対策地域協議会

(URL) <http://ebetsu-earth.net/>



第1部：燃料電池車（左）と小型電気自動車（右）の展示



第2部：eトーク「湿地から考える持続可能な江別」



北海道の環境イメージキャラクター『環境忍者 えこ之助』も会場を盛り上げてくれました。

(左：安倍、右：岡崎)